

# ゴールドカードは21社

## 開発局 宮坂建設が4年連続

北海道開発局は25日付に認定証の授与式を行った。2017年度工事成績優秀企業（ゴールドカード）を発表した。前年度と同じ21社が認定を受けた。宮坂建設工業が4年連続、松谷建設、谷間発、錦産業が3年連続、北極建設、協成建設工業、田端本堂カンパニー、こぶし建設、三井住友建設が2年連続で選ばれた。25日

北極建設は、3年以上受注した企業のうち平均点80点以上が全体の5%未満の場合が上位5%になるまで（79点未満を除く）範囲を広げた。

認定企業は、総合評価での加点や中間技術検査の減免など優遇措置が受けられる。

松谷建設の80・4点が最も高く、80点以上は7社だった。本社所在地別では、札幌開建が5社で最も多く、室蘭が3社、旭川、帯広、網走、稚内、道外が各2社、釧路、小樽、函館が各1社だった。

総合評価での加点措置は8月1日以降公告分から適用する。

17年度の工事成績優秀企業の受注件数と平均点は次の通り。（カッコ内は本社所在地）

▽松谷建設（北見）5件、80・4点	▽市橋建設（釧路市）6件、80・1点	▽興和建設（北見）3件、80点	▽齊藤建設（函館）9件、80点	▽函館建設（札幌）13件、79点	▽旭川建設（旭川）4件、80点	▽北極建設（伊達）4件、80点	▽北海道工業（苫小牧）6件、80点	▽岩田建設（札幌）10件、79点	▽宮坂建設工業（帯広）45件、79・9点
▽協成建設工業（岩内）6件、79・8点	▽桜井千田（奈井江）5件、79・8点	▽新谷建設（旭川）17件、79・8点	▽高堂建設（帯広）7件、79・7点	▽田端本堂カンパニー（三笠）8件、79・7点	▽オリエンタル（東京）3件、79・6点	▽こぶし建設（岩見沢）11件、79・6点	▽泰進建設（札幌）6件、79・6点	▽谷間発（浦河）3件、79・6点	▽錦産業（稚内）6件、79・6点
▽三井住友建設（東京）3件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点

# 松谷建設、市橋建設ら21社

## 29年度工事成績優秀企業

開発局

開発局は、二十九年度工事成績優秀企業を発表した。松谷建設（北見）、市橋建設（釧路市）など二十一社を認定。認定証の授与式は、二十五日札幌第一合同庁舎で行われる。

最終請負金額五百万円を超える一般土木、舗装、鋼橋上部など七工種の工事を対象に過去二方で三件以上完成させた業者の工事成績平均点のランキングを公表。特に優秀な工事成績をマークした業者を工事成績優秀企業として認定している。

二十八年度からは認定基準を見直し、「受注件数三件以上八十点以上」で、条件をクリアしている企業が全体の5%未満の場合、七十九点未満を含めない範囲で上位5%までとする方法に変更している。

本年度の認定企業については、八月一日以降の入札契約手続き対象工事から、総合評価落札方式で加点措置が講じられる。

優秀企業と受注件数、平均点はつぎのとおり。

▽宮坂建設工業（帯広）11件、79・9点	▽協成建設工業（岩内）6件、79・8点	▽桜井千田（奈井江）5件、79・8点	▽新谷建設（旭川）17件、79・8点	▽高堂建設（帯広）7件、79・7点	▽田端本堂カンパニー（三笠）8件、79・7点	▽齊藤建設（函館）9件、80点	▽函館建設（札幌）13件、79点	▽旭川建設（旭川）4件、80点	▽北極建設（伊達）4件、80点	▽北海道工業（苫小牧）6件、80点	▽岩田建設（札幌）10件、79点	▽宮坂建設工業（帯広）45件、79・9点
▽協成建設工業（岩内）6件、79・8点	▽桜井千田（奈井江）5件、79・8点	▽新谷建設（旭川）17件、79・8点	▽高堂建設（帯広）7件、79・7点	▽田端本堂カンパニー（三笠）8件、79・7点	▽オリエンタル（東京）3件、79・6点	▽こぶし建設（岩見沢）11件、79・6点	▽泰進建設（札幌）6件、79・6点	▽谷間発（浦河）3件、79・6点	▽錦産業（稚内）6件、79・6点	▽三井住友建設（東京）3件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽宮坂建設工業（帯広）45件、79・9点
▽協成建設工業（岩内）6件、79・8点	▽桜井千田（奈井江）5件、79・8点	▽新谷建設（旭川）17件、79・8点	▽高堂建設（帯広）7件、79・7点	▽田端本堂カンパニー（三笠）8件、79・7点	▽オリエンタル（東京）3件、79・6点	▽こぶし建設（岩見沢）11件、79・6点	▽泰進建設（札幌）6件、79・6点	▽谷間発（浦河）3件、79・6点	▽錦産業（稚内）6件、79・6点	▽三井住友建設（東京）3件、79・6点	▽岩田建設（札幌）10件、79・6点	▽宮坂建設工業（帯広）45件、79・9点

# 68者の栄誉たたえる

## 開発局が優良工事等局長表彰

北海道開発局は25日、2017年度優良工事等局長表彰式を札幌第一合同庁舎で開いた。局長賞を受賞した工事30者、業務38者の代表と技術者に和泉晶裕局長が表彰状を手渡し、栄誉をたたえた。

16年度に完了した工事1565件、業務2715件の中から創意工夫や困難な条件などを克服し、顕著な成果を上げた工事31件、業務41件を選んだ。



受賞企業の代表者と担当技術者に和泉局長（右）が表彰状を手渡した

を「はじめとする日頃の尽力と、家族の支えがあった」とたたえ、「今後一層の技術開発や優

れた人材の育成に尽力いただき、2年目を迎えた第8期北海道総合開発計画の実現に向けた活躍を願う」と協力を求めた。

表彰式に続き、工事成績優秀企業の認定証授与式も行い、過去2年の成績評価が特に優秀な21社の代表者に和泉局長が認定書を手渡した。

興和建設（本社・北見）、斉藤建設（同・函館）、広野組（同・旭川）、北海土建工業（同・苫小牧）、岩田地崎建設（同・札幌）、協成建設工業（同・岩内）、新谷建設（同・旭川）、こぶし建設（同・岩見沢）は局長表彰との同時受賞となった。

表彰実績と工事成績優秀企業の総合評価での加点は、例年通り8月1日分から公告する。

## 工事優秀企業 認定証授与式 21社の功績高く評価 今後のさらなる活躍期待

開発局



品質向上に関する企業努力をたたえた

開発局は二十五日、札幌第一合同庁舎で二十九年工事成績優秀企業に対する認定証授与式を挙げて、和泉晶裕局長が二十一社の受賞代表者一人ひとりに対し、認定証を授与した。認定証を授与する企業努力を評価するとともに、さらなる技術力の向上に向けた取組に期待を寄せた。

最終請負金額五百万円を超える一般土木、舗装、鋼橋上部など七工種の工事を

開発局は二十五日、札幌第一合同庁舎で二十九年工事成績優秀企業として認定している。二十八年度からは、認定基準を見直し、「受注件数三件以上八十点以上」で、条件をクリアしている業者が全体の五割未満の場合、七十九点未満を含めない範囲で上位五割までとする方法に変更している。

本年度は、松谷建設（北見）、市橋建設（釧路市）など二十一社を認定。和泉

局長が認定企業の代表者一人ひとりに対し、認定証を授与し、ためめ企業努力のランキングを今後のさらなる活躍に期待を寄せた。